

# 華となれ!

宮城県仙台二華中学校  
学校だより 第27号  
【発行日】平成29年10月12日  
【連絡先】022-296-8104  
【文責】副校長 中澤宏一

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

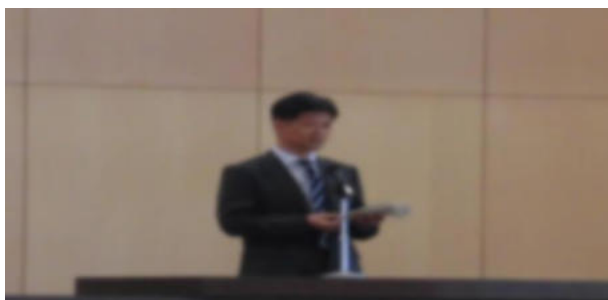
【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

## 「Ⅱ期 スタート」

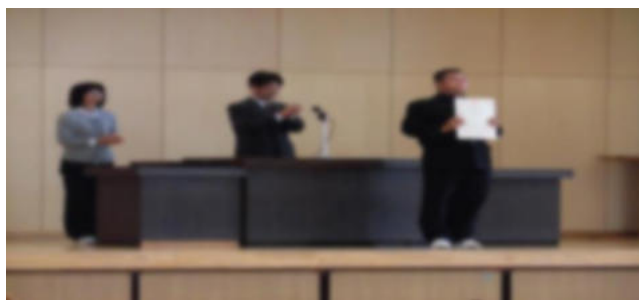
10月2日(月)に、始業式を行い、平成29年度のⅡ期がスタートしました。始業式で山内校長は、「季節と花」と題して式辞を述べました。その中で、筆者が、特に心にとめてもらいたいことを以下にまとめました。是非、もう一度立ち止まり、Ⅱ期への思いを、新たにしたいと思っています。

- ・季節、季節で花は全力で咲く。今、この時に、全力を注げる、二華校生に似ている。
- ・群れて咲く花は、鮮やかで豪華だが、一本桜や一本だけ咲く百合の花にはひかえめながら、際立った美しさがある。
- ・花には、季節と一体になった(調和した)美しさがある。
- ・「百花 春いたって たが為に咲く」。自分の為に咲くのか。自然に咲くのか。あるがままに咲くのではないか。人は、あるがままに生きているか。人目を気にし、目先に心を奪われていないか。
- ・「桜桃梅李(おうとうばいり)」。〇〇のままで、〇〇のように、他を気にせず、各々の姿で咲く。一人ひとりの良さを生かして、自分を大切に、精一杯生きる。
- ・実りの季節を迎えている。木は、ひたすら自分の実を实らせる。自分自身に向き合う。他人と比較するのではなく、自分を見つめ直す。困難なくして感動なし。自己実現に命を燃やし、全力で駆け抜けて欲しい。

以上のような、校長メッセージをしっかりと受け止め、自分とじっくり向き合い、自分の良さを生かしながら、自分らしい実りに向け、充実したⅡ期を過ごしてくれることを期待しています。



( 式辞を述べる山内校長 )



( 始業式前の賞状伝達 )



(全国大会等に参加するメンバーへの壮行式)



(応援団をリーダーに力強い声援が送られた)

## 「 創立110周年 二華会記念総会（紡ぐ） 」

9月24日（日）、ホテルメトロポリタン仙台を会場に、本校同窓会、二華会総会が、300名以上の参加者を迎え、盛大に行われました。

今年は、明治40年9月8日に第1回同窓会が開催されて以来、二華会創立110周年を迎え、「創立110周年 二華会記念総会」と銘打たれました。記念総会は、校歌合唱に始まり、物故者への黙祷、会長あいさつ、校長祝辞、功労者表彰等と続き、議事が慎重に審議されました。

記念総会・記念式典の中で、本校音楽部が、私立東華高等女学校や宮城県第二女子高等学校時代の校歌等を合唱し、鳴り止まない拍手を受けていました。

また、アトラクションでは、本校卒業生、森 明子さんのソプラノ独唱とピアノステージ「クラシックコンサート ～紡ぐ愛～」が披露され、様々なジャンルでの、卒業生の活躍を実感しました。

歓談の時間には、出席された恩師の先生方と和やかに談笑する場面が会場のいたるところでみられ、本校同窓会らしい温かな雰囲気が会場全体を包みました。



（山内校長 祝辞）



（真壁会長 あいさつ）



（300名を超える参加者）



（ 記念式典に華を添えた 中学校・高等学校音楽部の記念賛歌 ）

### ※欠席等の電話連絡に関するお願い

本校では、毎朝8時20分から30分まで、職員打ち合わせを行っています。その間は、欠席等の電話連絡をご遠慮いただきますよう、ご協力ください。宜しく願いいたします。